

アウトドア観光に関する県の取組状況について

長野県 観光部山岳高原観光課

1 概要

アウトドア観光は、「山岳高原」という長野県の大きな「強み」を最大限に活かせる体験型観光であり、外国人観光客にも訴求力のある観光ツールであることから、世界に誇れる長野県観光の重要な柱と捉え、情報発信と受入環境の整備を図る。

平成 29 年夏の「信州デスティネーションキャンペーン」の重要な 4 つの柱の 1 つとして、大自然で遊ぶ旅「アウトドア」の推進を位置づけ、PRを図っていく。

旅行先で最も楽しみにしていることが「アウトドア活動を楽しむこと」である割合	1 位	2 位	3 位	全国
	長野県 (24.0%)	新潟県 (21.3%)	宮崎県 (16.5%)	平均 (8.1%)
長野県を旅行先とする旅行者が最も楽しみにしていたこと	1 位	2 位	3 位	全国
	アウトドア活動を楽しむこと (24.0%)	温泉に入ること (19.5%)	自然景観を見ること (16.8%)	1 位：温泉に入ること (16.9%)

(出典：「日本交通公社：JTBF 旅行実態調査」)

2 現在までの取組状況

(1) (一社) 長野県アウトドア推進協議会の設立 (平成 27 年 11 月)

横のネットワークを構築することでアウトドア観光の全県的な発信力を強化するため、アウトドア事業者等で構成する「(一社) 長野県アウトドア推進協議会」を設立
(平成 29 年 3 月末現在：賛同事業者約 80 者)

(2) アウトドア観光情報サイト「アウトドア NAGANO ナビ」開設 (平成 28 年 4 月～)

県内アウトドア・アクティビティの情報と魅力を発信するため、信州のアウトドアの魅力や事業者の紹介を行うアウトドア観光情報サイト「アウトドア NAGANO ナビ」を開設・運営

(3) アウトドア映像集の製作 (平成 28 年 4 月～)

本県のアウトドアシーンを国内外に PR するため、信州のアウトドアと自然の魅力を集約した映像集 (季節・シーン別の 6 種類) を製作し、アウトドアイベントや銀座 NAGANO、ANA 国際線のデジタルサイネージ、Youtube 等において放映

平成 29 年 3 月「国際スノースポーツ指導者連盟 2017 白馬大会 (IVS I)」(※)

アウトドア映像を放映し、知事自ら長野県のアウトドアの魅力を PR

※世界 14 か国 約 500 名参加 会場：白馬八方尾根 2 競技のデモンストレーションや会議を開催

(4) 「信州アウトドアコース ガイドブック」の発行 (平成 27 年 4 月)

県内の周遊型アウトドア観光を発信するため、サイクリングルートやトレッキングルートをまとめた「信州アウトドアコース ガイドブック」(6,000 部) を作成し、県内観光案内所や東京・横浜のアウトドアショップ等で配布

(5) サイクルステーションの整備を支援 (平成 28 年 3 月)

県内のアウトドア観光の受入環境整備を推進するため、信越自然郷エリアで整備しているサイクリングルート沿線のサイクルサポート施設 (道の駅や観光案内所など) 20 カ所に①ラック、②空気入れポンプ、③修理用キットボックスを整備

(6) アウトドア事業者のリスクマネジメントの仕組みを検討 (平成 29 年 1 月、3 月)

飯山市・白馬村観光局、大手旅行会社 2 社、保険会社 2 社、アウトドア事業者を交え、アウトドア事業者の認証制度やリスクマネジメントに関する検討会議を開催

(7) 元気づくり支援金等による支援

サイクリングイベントやモニターツアー等の地域のアウトドア観光の取組を支援 (次頁)

[具体的事例]
(平成 27 年度)

事業名	事業実施主体	事業内容	補助額
信越自然郷アクティビティーセンターを拠点とした新たな滞在型観光の創生事業	信州いいやま観光局	飯山駅周辺及びエリア内におけるサイクリングルート設定、ツアーの実施、情報発信、イベント、講習会の実施など	3,280 千円
信越自然郷 五高原ロングライド 2015	信越自然郷 五高原ロングライド実行委員会	飯山市斑尾他の高原地帯 120km を周遊するサイクリングイベントの開催	1,289 千円
志賀高原ロングライド	志賀高原ロングライド実行委員会	志賀高原～野沢温泉村までのコース (50km、80km、115km) を走破するサイクリングイベントの開催	1,422 千円
小谷村ヒルクライムプロジェクト	小谷村	グリーンシーズンの誘客活動の一環として、自転車のヒルクライムコースを設定し、イベントを開催。平成 27 年度は 2 コースの設定の他、運営組織を立ち上げ。	1,198 千円

(平成 28 年度)

事業名	事業実施主体	事業内容	補助額 (内定額)
信越自然郷アクティビティーセンターを拠点とした新たな滞在型観光の創生事業	信州いいやま観光局	「信越自然郷アクティビティーセンター」が自転車モニターツアー・広告宣伝費、自転車マップ印刷等を実施	2,228 千円
信越自然郷 五高原ロングライド 2016	信越自然郷 五高原ロングライド実行委員会	飯山市斑尾他の高原地帯 120km を周遊するサイクリングイベントの開催	1,516 千円
自転車トライアルの普及事業	自転車トライアル普及委員会	佐久市で全日本自転車トライアル大会を開催し、自転車トライアルのメッカとすることを目指す。	1,175 千円

また、平成 26 年度には、「山岳高原観光地づくり補助金」により、飯山駅の信越自然郷アクティビティーセンターの整備や扇沢市営駐車場の多言語案内板等の整備を支援
(各 12,247 千円、4,039 千円)

3 平成 29 年度の取組予定

(1) 信州 D・C の重要な柱の 1 つとして P R

信州 D C ホームページやパンフレットにおいて、県内で体験できるアウトドアのプロモーションを展開

(2) アウトドア事業者認証制度等の構築

上記 2 (6) の検討を踏まえ、アウトドアを組み込んだ旅行商品の販路拡大を図るため、①アウトドア事業者の損害賠償責任保険への加入状況、②安全研修の実施状況等を確認・表示する「アウトドア事業者認証」の仕組み等を構築予定

(3) 各地域振興局とのタイアップによる受入基盤整備の推進

各地域振興局がアウトドアをテーマに取り組む「稼ぐ」ための観光客受入基盤 (地域 D M O など) の整備について、県観光部や観光機構等が全庁的に支援 (「県観光戦略推進本部」を活用)

(4) アウトドア NAGANO ナビ等による情報発信

アウトドア体験を目的とする観光客のさらなる誘客を図るため、上記 2 (2) の「アウトドア NAGANO ナビ」や今後運用を開始する「長野県観光・交通情報アプリ」を活用した情報発信力の強化と県観光機構の「Visit Active 信州」の旅行商品販売機能の向上等に取り組む。